

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
みんなで支え合う春日の暮らし	生きがいを感じ、元気に暮らせるまちづくり	高齢者	集いの場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の集いの場はあるが、通える範囲が限られている ・集う場が少なく出かける機会がない（フレイルの心配） ・ストレスを抱える高齢者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区地図に公民館や老人憩の家を載せて本人が町内やエリアに関係なく参加できる場所の確保について検討する ・ふれあいいきいきサロンを継続する ・福祉ボランティアを育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春日校区あんしんマップ」の活用 ・ふれあいいきいきサロンの継続 ・福祉ボランティアの育成 ・隣保組制度の役割を認識する活動の検討 ・行事開催内容の見直し ・命のバトン事業の継続 ・相談体制の強化（関係機関との連携） ・認知症への理解を深める啓発の実施
			地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりがない高齢者の増加 ・孤立、孤独者の増加 ・マンションが増え、町民の交流の減少（敬老の日に訪問する程度。障がい者はもっと少ない） ・地元の方と転入者の交流が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度、隣保組制度の役割を認識する活動について検討する（声かけ、見守り、回覧板は顔を見て渡す等） ・集まりやすい行事等を実施し、顔が見える関係づくりを構築する 	
			高齢者の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命をのばすための対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出る機会をつくる ・命のバトンの配付と活用を継続する 	
			8050問題	<ul style="list-style-type: none"> ・8050問題への対応 ・高齢者と障がいのある子の世帯の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいた人が相談できる体制を強化する（ささえりあ、障がい者相談支援センター等との連携） 	
			認知症に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の症状の理解と対応についての理解が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で認知症の理解を深める啓発の取組みを行う 	
		障がい児・者	障がい者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいや認知症があっても暮らし続けることができるまちづくりが必要 ・障がい者を支援するヘルパーさんの慢性的な不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で障がいについての理解を深める啓発の取組みを行う ・ちょっとボランティア（買物代行、ゴミ出し手伝い等）の活動を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいへの理解を深める啓発の実施 ・ちょっとボランティア活動の検討
	みんなで育てよう春日の宝	子ども・子育て	子どもの安全、安心	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の道路において、歩道がなく交通量が多い箇所がある ・路地が多く不審者と自宅近くで出会う可能性が高いため、地域での見守りが必要 ・子どもたちの安全、安心を守るために校区全体での見守り、意識付けが必要 ・危険箇所改善のため、関係機関への働きかけが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面の整備（歩道の設置）やソフト面の整備（家庭での教育、ドライバーへの呼びかけ）を働きかける ・春日コミセンのHPや学校のHPで毎年更新される校区危険箇所調査を確認するよう呼び掛ける ・ながら見守りを広める（散歩、水やり時など） ・自治会だより等でPRする ・警察へ危険箇所の改善要望を行ない、土木センターへも働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの交通安全に対する働きかけ ・春日地域コミュニティセンターホームページ及び小学校ホームページの活用 ・自治会だよりによる啓発 ・交流の場の創設 ・関係機関等との情報共有の継続
	地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者の増加（若い世帯） ・子どもたちと地域の交流の希薄化 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、子育て家庭、転入世帯等との交流の場、機会づくりを行なう 			
	子育て家庭の見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯（特にマンションに住んでいる方）への子育てに関する情報提供が困難（孤立化につながっている） ・ひとり親家庭や働く母親への子育て支援が必要（相談先が周知されていない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・西区役所保健子ども課、学校、保育園等との情報共有を継続する ・地域に窓口を設置し、定期的に報告を行なう 			

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
みんなで支え合う春日のくらし	助け合い、支え合うまち春日	災害・防災	災害時の支援を見据えた情報の共有	<ul style="list-style-type: none"> 独居高齢者が多く、地域的に高低差があり、避難の対応が困難 日中の独居高齢者の緊急時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の企業など、社会資源を活用する（避難先、水などのサポート） 自治会役員が隣保班長へ回覧板を配付時に災害弱者の情報共有を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 春日校区わが家の防災の活用 災害弱者把握のための情報共有体制の確立
			日頃からのつながり	<ul style="list-style-type: none"> 隣人との付き合いがない住民の増加（高齢者同士、隣人宅との距離がある） 運命共同体としての生活様式の変化（一人では生きていけない） 集まって話せる場所の確保。親しみやすく楽しく参加できる会合が必要 住民との情報共有が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 普段のあいさつ、会話、物々交換、ゴミ出し時のあいさつの必要性を呼びかける 無償で提供してもらえる場所を調査する 町内で課題を回覧し、住民との情報共有を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からのつながりの重要性の啓発 集いの場確保に向けた調査の実施 町内における情報共有促進の啓発 地域版ハザードマップの作成
			災害時における支援体制	<ul style="list-style-type: none"> 地域版ハザードマップを作成し、まち歩き（子育て世代など）で地域情報を落とし込むことが必要 災害時の連絡体制の確立 避難所運営訓練を地域住民主体でチームとして行うことが必要 高齢者や病弱な家族を要する家庭への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域版ハザードマップの全町内作成を目指す 隣保別緊急連絡網を作成し、緊急連絡訓練を実施する 避難所運営訓練を年1回など定期的に行い啓発に努める 災害を想定した避難行動計画を策定する 誰に頼るかを決めておくよう啓発する 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡訓練の実施 避難所運営訓練の実施 避難行動計画の策定
	みんなで築こうつながりの和	暮らし・人とのつながり	地域の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動の担い手不足（自治会役員はボランティア） 地域の担い手（協力者）不足 	<ul style="list-style-type: none"> 行政へ支援を要請し、地域住民の理解を図る 地域活動に親子で参加を意識して、小中学校に通う世帯へ積極的に呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> 自治活動に対する啓発 「広報紙まちけん」の活用
			地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の連携の希薄化 高齢者の孤立 町内における交流の場への参加者の固定 地域行事への参加者の現象（高齢者が多く、若者は仕事で忙しい） 花岡山、万日山等の地域資源を有効活用（行事等の開催）することが必要 新たな住民が増えつつある中、住み良いまちづくりのために地域の諸団体と行政がどのように活動するべきなのか考えることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館活動や老人会活動等の振興を図る 地域活動に親子で参加を意識して、小中学校に通う世帯へ積極的に呼びかける 行事の開催日時を考慮する 花岡山の夜景の活用。夜は若い世代が参加しやすい 万日山の桜の活用。新年度の季節に顔なじみをつくる 新たに転入して来られ新しく校区住民になられた人々に地域事業に自然に参加していただく方法として、例えば、子ども達を対象とした花火大会、凧あげ大会、夏祭り等、ファミリー単位で楽しく参加できる催物を通じて、住む街に溶け込んでいただき、将来は校区を背負うような人に育てる 	<ul style="list-style-type: none"> 春日地域コミュニティセンターホームページの活用 公民館活動、老人会活動等の振興支援 地域観光資源の活用 新たな転入者に対する地域事業への理解、参加の勧誘
			環境と治安	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ出しにおける公共心の欠如 ゴミ捨て場におけるカラス対策 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ出しに対する啓発の看板を設置する 利用グループ（隣保等）単位の啓発活動を行う カラスよけネットの下部にチェーン等の重りを付ける対策の周知を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 安心、安全なまちづくりにおける各種団体の連携 ゴミ出しに対する啓発